

2010年6月22日
北海道旅客鉄道株式会社
道銀カード株式会社

JR北海道で「台湾 SmartPay デビットサービス」を導入

JR北海道では、道銀カード株式会社と協力し、2010年7月1日より、北海道内の二つの駅において、「台湾 SmartPay デビットサービス」を以下の通り導入いたします。なお、鉄道事業者が本サービスを導入するのは、本件が国内初となります。

台湾から北海道へは毎年安定した数の観光客が訪問しており、平成20年度は約23万人の方が来道されております。その数は韓国(約14万人)、香港(約13万人)、中国(約5万人)を大きく上回り、海外からの来道者総数の約33%を占めています()。

(データ出所)平成20年度統計資料(北海道経済部調べ)による

JR北海道では、従来より海外からのお客様向けに「北海道レールパス」を販売し、鉄道の利用促進をはかって参りました。台湾観光客による当レールパスのご利用も増えており、このたび、「北海道レールパス」を販売している下記2箇所のインフォメーションデスクにおいて標記サービスの取り扱いを開始します。

昨年7月に導入済みの中国「銀聯カード決済サービス」に続き今回の「台湾 SmartPay デビットサービス」の導入により、台湾人観光客を含めた近隣アジア諸国からの来道者向けサービスの一層の拡充をはかって参ります。

道銀カードでは、今後も台湾 FISC との連携により、北海道地域における台湾 SmartPay デビットサービスのさらなる普及拡大を目指します。



【導入箇所】

札幌駅 北海道さっぽろ観光案内所「外国人インフォメーションデスク」
新千歳空港駅 「外国人インフォメーションデスク」

台湾 SmartPay デビットサービスとは、台湾 FISC () の加盟銀行が台湾国内で発行する台湾金融カード(IC キャッシュカード)を利用し、日本国内(現状は北海道内)の台湾 SmartPay デビットサービス加盟店でデビット決済することが出来るサービス。

現在、提携している主要9行が発行している台湾金融カードは約1,500万枚で、台湾国内でのシェアは約4割となっています。

6月15日現在の北海道内におけるご利用可能店舗等は90箇所、165台となっております。

台湾 FISC とは、Financial Information Service Co.Ltd.の略称で、台湾国内の全銀行361行が加盟するネットワーク運営会社です。

北海道レールパスとは外国人専用のレールパスであり、決められた期間内、道内の列車が何度でも乗り降り自由で、指定席も無料で確保することができるチケットです。普通車用・グリーン車用があり、それぞれ「3日間用」、「5日間用」と任意の4日を選べる「フレキシブル4日間用」のタイプがあります。短期滞在資格の外国人の方がこのパスをご購入いただくことが可能で、年間約15,000人の方にご利用いただいております。